事務事業評価シート　令和　2　年度事後評価・決算

令和　4　年　2　月　10　日時点

所管課	社会福祉課	担当班	障害福祉班

事務事業名	コード	11700	グループホーム運営費等助成事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	3	1	2

施策体系					
基本施策	9	障害者福祉の充実	根拠法令	旭市障害者グループホーム運営費補助金交付要綱	
施策の展開	20	障害者福祉の推進	戦略事業	103	グループホーム運営費等助成事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成　年度～ ☑ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成　年度～ 令和　年度まで	・障害者グループホーム等について、安定した運営が行われるよう、補助金交付を行う。 ・障害者グループホーム等を利用する障害者の経済的負担を軽減し、その自立を促進するため、対象者に対して家賃助成を行う。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
平成20年4月1日より事業開始 （開始経緯は不明）	・地域生活への移行については、親の高齢化・障害者の重度化及び高齢化・国による地域移行の促進等により、ニーズの多様化が想定される。	特になし

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（2年度の決算）		単位：千円
1.補助金	17,522	障害者グループホーム運営費等補助金
2.繰出金		

② 特定財源の内訳（2年度の決算）		単位：千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金	8,760	障害者グループホーム運営費等補助金
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	グループホーム入居者の利用日数の減少のため。

		単位	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 補助金	千円	18,547	19,107	18,172	17,522	20,310
	2. 繰出金	千円					
		千円					
		千円					
		千円					
	事業費計（A）	千円	18,547	19,107	18,172	17,522	20,310
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	9,168	9,297	9,039	8,760	10,154
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	9,379	9,810	9,133	8,762	10,156

従事職員数	常時	2	人	最大	人	×	日	＝	延べ	人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段 ① 主な活動
2年度実績（2年度に行った主な活動） ・グループホーム等運営事業者に対し、運営経費の補助をした。 ・グループホーム等利用者に対し、家賃を助成した。

	③ 活動指標名	単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	補助金交付事業者数	事業所	18	18	16	17	20
イ	家賃助成対象者数	人	76	74	73	72	69

目的	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
対象	障害者
意図	地域生活移行を促進する。
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	グループホーム入居待機者数	人	0	0	0	0	0
イ	旭市障害福祉計画と実利用人数の割合	%	96.7	100.0	91.3	88.4	100.0

(4)事務事業優先度評価の結果

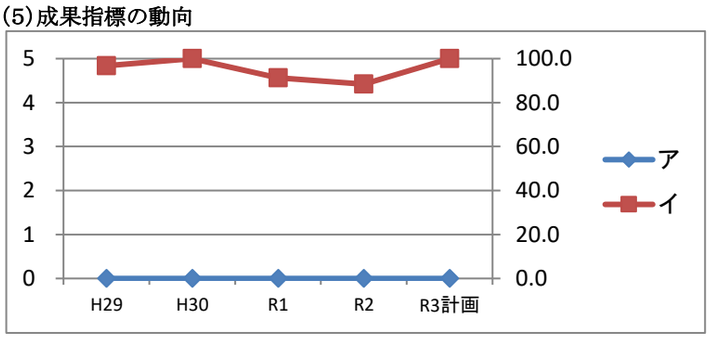
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			④
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②③			
	④⑤⑥	(4)		
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容		
① 進捗状況 【コメント】 （停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）	☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難	
② 成果の状況 【コメント】 （低下の場合、その理由）	成果指標ア　成果指標のタイプ　↗　数値増＝成果向上　☐ 向上　☑ 横ばい　☐ 低下 成果指標イ　↗　数値増＝成果向上　☐ 向上　☐ 横ばい　☑ 低下 グループホームを退所し、地域生活に移行する人が増加傾向にある。	

成果動向	比較	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
	ア	0	0	0	0	0
	イ	△2.2	3.3	△8.7	△2.9	11.6

③ 今年度取組事項（3年度に取り組む主な事項について記載）	時期	内容	今後の方向性		
		例年どおり		☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　）	例年どおり